

空知知的しょうがい福祉協会 令和元年度職員研修会 速報

令和元年 6 月 20 日(木) 花月サポートセンター 体育館

《研修のねらい》

この研修は、権利擁護や災害対策・感染症についての講演を通じ、福祉職員としてのスキルアップを目的とし、他施設の職員とコミュニケーションを図り、現場で活かせる知識を身に着ける事を目的としています。

アイスブレイクでの様子



《講演 1 障がいのある人の権利擁護について考える》

障害者虐待対応状況調査については、年々増加傾向にあり精神障がいの方よりも知的障がいの方に多いことを学びました。

事例検討は、白戸講師の経験を交えながら 10 件の事例を 2 分間検討し利用者さんの気持ちや権利を考え学び、利用者さんへの声掛けの工夫や別の支援方法を考えました。

この研修に参加して権利擁護意識や支援技術を向上することができました。また、利用者さんが安全で安心して利用できるサービスを提供し職員も安心して働くことができる環境を作ることが大切だと学びました。



《講演 2 災害対策の取り組み》

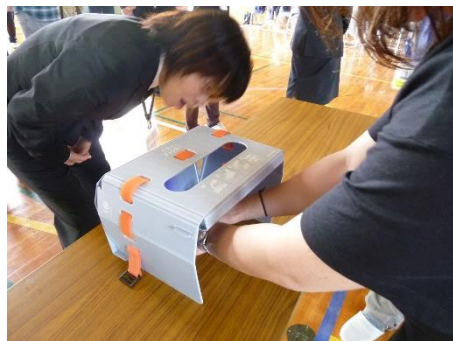
災害対策委員会を立ち上げたきっかけが平成 23 年 3 月 11 日の「東日本大震災」ということで、災害対策委員会の研修の中では東日本大震災を実際に体験した方の話を聞くことや、災害発生時にどの様に動くかを書いたマニュアルを作成していることなど委員会としての取り組みを学びました。

平成 28 年の台風の被害での派遣活動や、平成 30 年の胆振東部地震の経験でどのような課題があったかを佐藤講師の体験を聞き、改めて災害時にどのように動けばいいのか、自分の施設の対策を確認するきっかけになりました。



《講演 3 手指消毒について ノロウイルス感染症の特性》

7 グループに分かれて実際に手指消毒を行い、普段の手洗いの仕方と講義で学んだ手洗いでは、どのくらい菌が残っているのかを見比べることができました。ノロウイルスについては、施設内で感染症に罹った利用者が出た時の為に必要なものや対応方法など感染症に対する理解を深めました。また、感染症にならないためにも手指衛生は、感染予防の基本であることを学びました。



《最後に》

研修に参加された皆さん、いかがでしたでしょうか。それぞれの職位や経験年数等の立場に違いがあると思いますが、この研修で学んだことをぜひ職場に持ち帰って頂き権利擁護に対する意識の向上や災害対策・感染症対策に役立てて頂ければと思います。おつかれさまでした。

空知知的しょうがい福祉協会 幹事会